

「建設人・九条の会」 賛同の呼びかけ

今、日本国憲法9条を中心的な標的にした憲法改悪の動きが急速に進められています。

それによって、日本の自衛隊が米軍の指揮のもと、世界のすみずみで「戦争のできる国」に変えようとしています。

こうした危機感の中で、昨年6月10日、井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、加藤周一、小田実、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の九氏による「九条の会」が結成され、国民に「日本と世界の平和の未来のために日本国憲法を守りましょう」というアピールが出されました。

私たち建設産業の様々な分野で仕事や研究活動をするものは、日本と世界の平和な未来のために、このアピールに全面的に賛同し、一緒に行動するのが現代に生きる私たちの責任との思いから「建設人・九条の会」を立ち上げました。

今年は、第二次世界大戦が終結して60年の節目の年です。日本のファシズム政権によって引き起こされた侵略戦争で2300万人を超すアジアと日本の人々の尊いいのちが犠牲になりました。とくに、建設産業関係者は、真っ先に危険な最前線にかり出され、多くの仲間のいのちが奪われました。

ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下をはじめとする無差別爆撃は、非戦闘員を巻きこむ人命の犠牲とともに、私たちの手で築きあげた国土や住宅などの建築物まで破壊しました。

国土建設や住宅など社会基盤の整備は、平和であってこそ建設されるものです。

戦争終結から導き出された日本国憲法は、ファシズム政権の戦争の教訓と反省から再び戦争をしないことを世界に明言したものであり、私たちはそれを誇りとしています。

21世紀は戦争のない平和をめざすべき世紀ですが現実にはこうした方向とは逆行するように、イラク等への大国による軍事介入に多くの人々が犠牲を強いられています。

私たちは、日本国憲法9条こそ世界各地の紛争を平和的に解決しうる最高の保障と考えます。

そうしたことから、私たち「建設人・九条の会」は建設産業にかかわるすべての皆さんにこの呼びかけに賛同を頂き、「九条の会」のアピールを広め、思想・信条の違いを超えて、日本国憲法9条を守るという一点で共同していくことを訴えます。

2005年5月1日

呼びかけ人															
(五十音順)	山本 厚生	藤沢 好一	永山 利和	中島 明子	前場 幸治	椎名 恒	佐藤 陵一	佐崎 昭二	小林 謙二	木下勝三郎	加藤 忠由	片方 信也	大塚 紀章	石澤 盛男	有原 誠治
(ひと裁ち折り紙創案者)	生活建築研究所長	建築工学科教授	日本大学商学部教授	和洋女子大学家政学部生活環境学科教授	株式会社前場工務店 会長	北海道大学教育学部産業教育学科教授	全日本建設交通一般労働組合中央執行委員長	元常務取締役 佐藤工業株式会社	建築学科教授 関東学院大学工学部	東京土建一般労働組合中央執行委員長	全国建設労働組合総連合前中央執行委員長	日本福祉大学 情報社会科学部教授	国土交通省全建設労働組合中央執行委員長	(カラクリテレビ棟梁)	石澤工務店経営 アニメーション映画監督